

## 2

# 資産管理の活用

## 1 健全な水道事業運営を目指す

### 現状

本市では、本土復帰以降に整備した送・配水管の経年化や老朽化に伴う更新需要が増加しています。平成26年3月末時点の本市に布設されている配水管のうち、法定耐用年数40年に対して、30年以上（昭和59年以前に布設した配水管）経過している配水管が延長175.393kmあり、本市の送・配水管総延長563.388kmの約31%となっています。

今後は、平成25年3月に策定した「沖縄市水道施設整備事業計画（管路耐震化計画・更新計画）」を基に更新事業を実施予定しておりますが、持続可能な水道事業を実現し、次世代に健全な水道を引き継ぐためには、中長期的な視点に立って、技術的な知見に基づいた施設整備・更新需要の見通しについて検討し、着実な資金計画に基づく更新投資を行う必要があります。



配水管布設工事に伴う既設管撤去作業



配水管布設工事  
(GX形ダクタイル鋳鉄管:耐震管)



配水管布設工事  
(NS形ダクタイル鋳鉄管:耐震管)



胡屋配水池築造

2. 資産管理の活用

1. 健全な水道事業運営を目指す

持続

これからの取り組み

アセットマネジメントの活用により、現有施設の健全性等を適切に評価することで、将来における水道施設全体の更新需要の規模・時期を把握することができます。更には、施設の重要度・優先度を踏まえつつ、耐震化を推進するための更新事業の前倒しや診断・補修等による更新時期の最適化の検討を行うことにより、更新投資の平準化も可能となります。

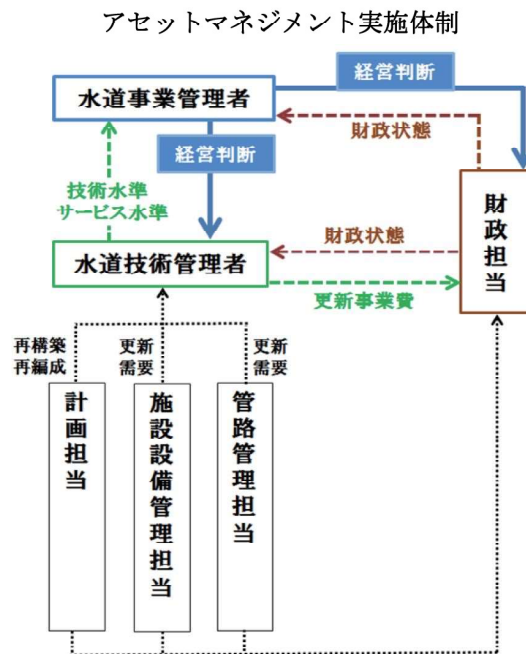
今後、アセットマネジメント実施体制を推進し、中長期的な視点を持って、更新需要や財政収支の見通しを立て、健全な水道事業運営を目指します。

(アセットマネジメントとは、一般的に株式や資産等の運用管理をいいますが、水道事業において、持続可能な水道事業を実現するために、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動を指します。)

アセットマネジメントは、水道事業全般に関わる活動とされています。右図の”アセットマネジメント実施体制図”でも示す通り、水道技術管理者がアセットマネジメントの実施においては中心的な役割を担い、組織全体で統制の取れた活動を行います。

※水道技術管理者

水道法において水道事業者、水道用水供給事業者、専用水道設置者において、水道技術管理者を必ず設置しなければならないと定められています。技術面での責任者です。



【関連する計画や取り組みなど】

- 沖縄市水道施設整備事業計画（管路耐震化計画・更新計画）